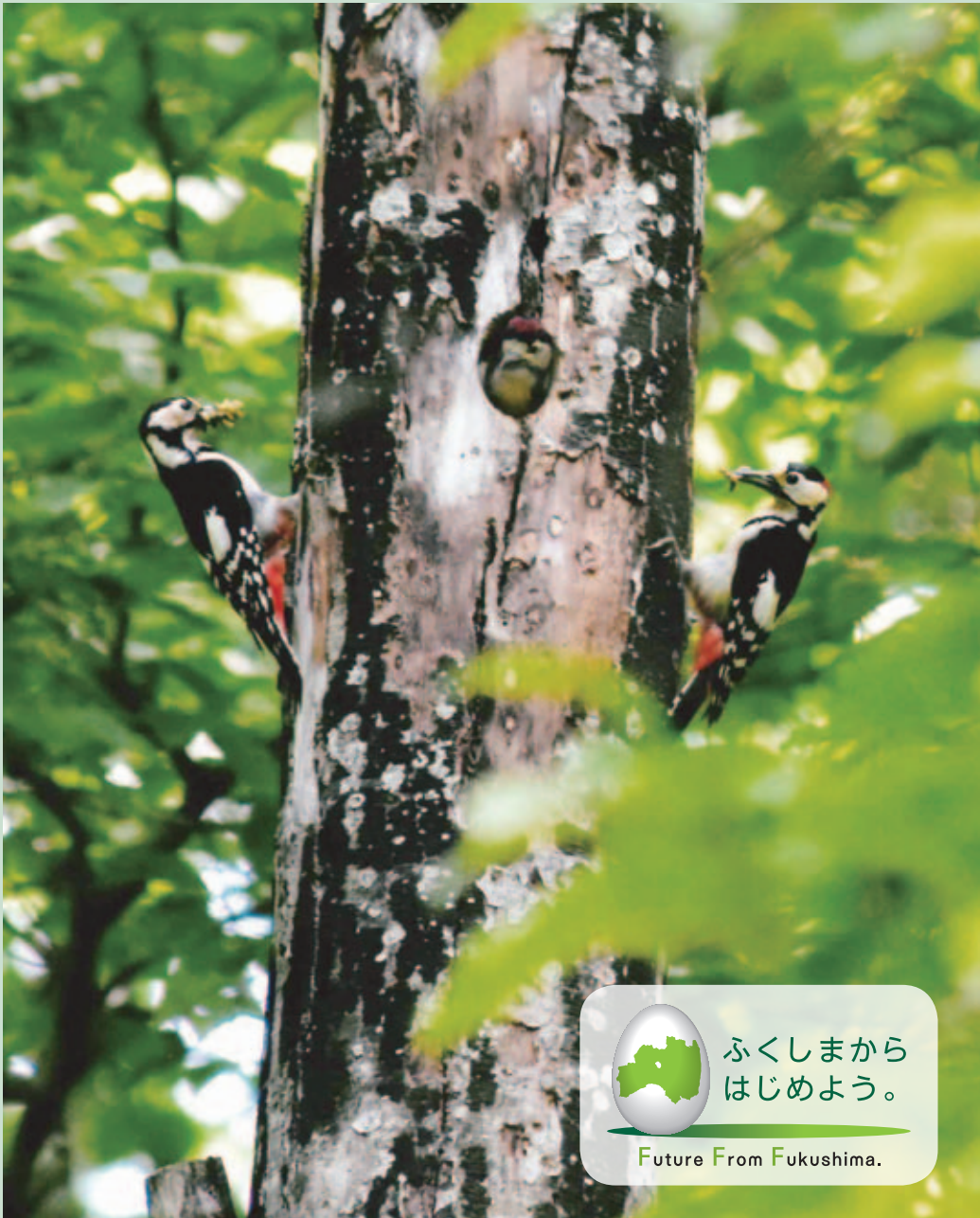


# 林業福島

No. **657**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**5**

2019

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 大きくなあれ



# 平成31年度の取組について

福島県農林水産部長  
松崎 浩 司

皆様方には、日頃、本県の森林整備の推進と林業・木材産業の振興に御協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年六月には、全国各地より林業・木材産業に関わる皆様の御参加をいただいた全国林業後継者大会や、上皇上皇后両陛下の御臨席の下、被災地では初となる全国植樹祭を、十一月には、その理念を継承したふくしま植樹祭をそれぞれ開催し、未来につながる希望の森林づくりに向けた機運が一層高まったとともに、復興に向けて力強く歩み続ける福島県の姿や、国内外の多くの方々からお寄せいただいた温かい御支援への感謝の気持ちを広く発信することができました。

平成三十一年度は、ふくしま農林水産業新生プランに基づき、重点的かつ着実に施策を推進してまいります。

まず、森林の再生につきましては、森林の公益的機能の維持増進を図る森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を行うふくしま森林再生事業に取り組んでまいります。

海岸防災林の復旧にあたっては、これまでの飛砂の防備、潮害・風害の防止機能に、津波被害の軽減効果を追加して整備しているところであり、早期完成に努めてまいります。

県産材の利用促進につきましては、高性能林業機械等の導入を支援し安定供給体制の構築を図るとともに、首都圏や海外を視野に入れた販路拡大の支援に取り組んでまいります。栽培きのこの生産振興につきましては、原木・おが粉等の生産資材の供給支援に引き続き取り組むとともに、山菜や野生きのこの出荷制限解除に向けた取組を推進してまいります。

さらに、平成三十一年度四月から施行された森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムの運用を円滑に進めるとともに、人材の育成機能の整備についても具体的な検討を進めてまいります。

今後とも、本県の森林の再生と林業・木材産業の復興、林業成長産業化の実現に向け、積極的に取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

## 《も く じ》

とびら	
平成31年度の取組について	
福島県農林水産部長 松崎 浩 司…	1
「緑の募金」街頭キャンペーン ……	2
林業研究センターだより……	3～4
福島県もりの案内人	
福島県グリーンフォレスターの認定	
及び活動について……	5
都路地区きのこ原木生産技術……	6

福島県の森林・林業復興に向けての取組	
結果のご紹介……	7
普及指導員通信……	8
フォレストだより……	9
苗協だより……	10
木の文化を育む②……	11
木材市況・ふくしま東西南北……	12
はなしのひろば・お知らせコーナー……	13

# 春の「緑の募金」街頭キャンペーン始まる!!

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

## 2019年 緑化運動標語 「その手から つながる未来 広がる緑」

平成31年4月20日(土)、JR福島駅前において「緑の募金」街頭キャンペーンを行いました。

この街頭キャンペーンは、毎年、春季募金運動推進期間中(4月1日～5月31日)、福島市緑化推進委員会と共催で開催しております。

市内の荒井小、岡山小、佐倉小、佐原小の4つの小学校の緑の少年団をはじめ、松崎浩司県農林水産部長、芳見茂県北農林事務所長のご臨席をいただき、齋藤卓夫県森林・林業・緑化協会会長ら総勢約120名が参加し、晴天の中で街行く人達に緑の募金の協力を呼び掛けました。

小さなお子さんからご年配の方まで老若男女問わず、多くの皆さんが募金に協力してくださいました。本当にありがとうございました。



元気に募金を呼び掛ける緑の少年団

### 平成31年度 緑の募金運動

1. 募金目標額 70,000,000円
2. 募金運動の期間 4月1日～5月31日(春の新緑シーズン)  
9月1日～10月31日(秋の紅葉シーズン)
3. 事業内容 (1) 森林の整備  
県民参加の森林づくりの推進、地方植樹祭、育樹祭の開催等  
(2) 緑化の推進  
緑の少年団の育成、緑化苗木の配布、学校緑化活動促進、花いっぱい運動、緑の写真コンクールの実施等
4. お問い合わせ先 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会(緑化推進局 緑化推進課)  
〒960-8043 福島市中町5-18 福島県林業会館内  
TEL: 024-524-1480 FAX: 024-521-3246

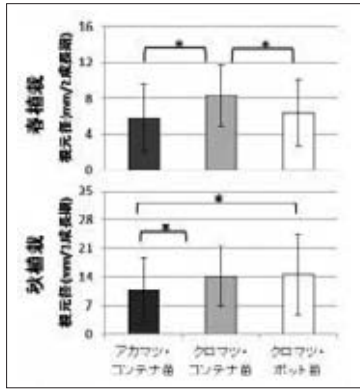
## 林業研究センターだより 平成30年度の 「普及に移しうる成果」



ナメコ露地栽培の試験実施状況

林業研究センター企画情報部

林業研究センターでは、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、通常の課題に加えて、放射性物質関連課題に関する試験研究も行っています。これらの課題の成果については、毎年、「普及に移しうる成果」として、福島県農業振興課のホームページで公表されています。平成三〇年度は、通常課題について「普及に移しうる成果」一課題、「参考となる成果」一課題、「放射線関連課題については、「放射線関連支援技術情報」六課題の成果を取りまとめました。ここでは、これらの概要についてお知らせします。なお、詳細については福島県農業振興課ホームページをご覧ください。



※ \*は多元配置分散分析で有意差があったことを示す。  
図-1 植栽木・苗種間の成長量の違い

### 平成三〇年度普及に移しうる成果

**海岸防災林の活着・初期成長について**  
津波で失われた海岸防災林を早期に復旧するため、盛土造成地における苗木の活着状況を調査しました。その結果、コンテナ苗の方がポット苗よりも活着が良く、クロマツの方が

アカマツよりも成長が良いとの結果が得られました(図-1)。また、春播栽では植栽木の成長に施肥の効果認められました。

### 平成三〇年度参考となる成果

#### ナツハゼ優良系統選抜

ナツハゼをジャム等の加工品に利用するためナツハゼの優良系統について六系統を選抜しました。一次選抜した優良系統候補木の特性を調査し特性表を作成しました(表-1)。その結果、野生のナツハゼは食味のばらつきが大きく、ジャムに向くものと向かないものがあることがわかりました。

### 平成三〇年度放射線関連支援技術情報

#### 広葉樹萌芽枝のセシウム濃度の推移

広葉樹を萌芽更新する際の参考とするため、低汚染地域においてコナラ萌芽枝のセシウム137 (以下「<sup>137</sup>Cs」とする)濃度を調査しました。その結果、各部位の濃度はこれまで調査した中・高汚染地域の調査結果の傾向と同様に、葉や当年枝といった梢端側の濃度が高いことがわかりました(図-2)。また、当

年枝の濃度が萌芽から二年目に大きく減少していました。

#### <sup>137</sup>Cs 汚染低減効果

ナメコ原木露地栽培における敷材による汚染低減効果を検討しました。その結果、子実体の<sup>137</sup>Cs濃度は原木の下にパレット+マット、不織布+赤玉土または鹿沼土を敷設した場合に特に低くなりました(図-3)。この結果から、汚染された地表面からナメコ原木を離すことが汚染低減のために有効であることがわかりました。

#### 放射性物質捕捉装置によるほだ場環境からのほだ木汚染実態把握

原木きのこ生産におけるほだ場環境からの追加汚染実態を把握するため、林内や林外にセシウムを捕捉するフィルター(不織布等)を設置し<sup>137</sup>Cs濃度を測定しました(写真-1)。その結果、林内に設置したフィルターの<sup>137</sup>Cs濃度は林外に設置したフィルターより高い結果となりました。この結果から、雨水等による原木の汚染が継続していることがわかりました(図-4)。

#### コシアブラ部位別<sup>137</sup>Cs濃度の時期別変化

県内の広い地域で出荷が制限され

ているコシアブラの汚染状況を部位別、季節別に調査しました。その結果、部位別の平成三〇年五月下旬の<sup>137</sup>Cs濃度が他の時期や部位よりも高い傾向にありました(図-5)。

**コナラ林内土壌の放射性セシウム及び交換性カリウム測定**

土壌からコナラ立木へのCsの移行要因を把握するため、県内2カ所(A、B)のコナラ林で土壌の<sup>137</sup>Cs濃度、交換性カリウム含量と辺材の<sup>137</sup>Cs濃度を測定しました。その結果、土壌と辺材の<sup>137</sup>Cs濃度には相関は認められませんでした。一方<sup>137</sup>Csの移行に影響する土壌の交換性カリウム含量については、調査地AとBで深さ別に異なる傾向がみられました(図-6)。

**コナラ材部の放射性セシウム濃度の簡易な推定方法の検討**

きのこ栽培用のコナラ立木の汚染程度を枝や樹皮といった部位から簡易的に推定する手法について検討しました。その結果、当年枝の<sup>137</sup>Cs濃度は材部と相関が高いことがわかりました(図-7)。この結果から、コナラ立木を伐倒することなく、当年枝のみを採取することで材部のCs濃度を推定できることが示唆されました。

品種名	所在場所	実付	房長(cm)	房個数(個)	房付	総合評価点	果実色	粒形	フルーム	一粒重(g)	糖度%	酸度%	糖酸比	樹形	樹高(m)	樹勢	備考
笠石0	田村市都路	やや少	6~10	6~8	中	2.13	黒	球形	無し	0.5276	12.10	1.93	6.27	株立	3.0	中	
笠石1	田村市都路	やや良	8~14	6~12	やや良	2.30	黒、輪紋	球形	無し	0.4859	13.70	2.45	5.59	株立	3.0	良	葉が赤い
笠石2	田村市都路	やや少	5~9	6~10	中	2.20	薄い赤、輪紋	球形	無し	0.4911	11.40	1.48	7.70	株立	2.3	中	
GP1	田村市都路	中	8~12	10~15	良	1.57	黒	球形	無し	0.3670	9.00	1.48	6.08	株立、叢状	1.8	中	
山田99	福島市山田	中	5~7	3~7	落果多い	1.40	濃赤	やや扁平	無し	0.6569	12.50	1.30	9.62	3本立	2.0	中	葉が赤い
表郷1	白河市表郷	良	10~14	10~20	良	1.67	薄い黒	球形	無し	0.5150	10.80	1.32	8.18	株立	2.0	中	実が1列で採取しやすい

表-1 優良系統候補木特性表

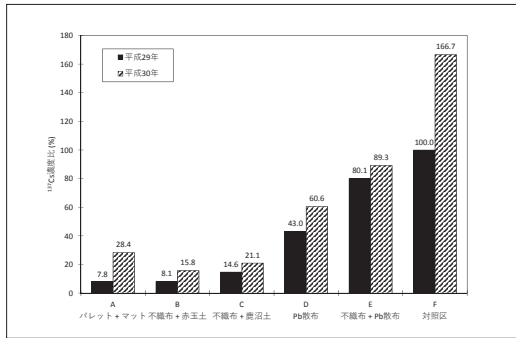


図-3 平成29年対照区の子実体<sup>137</sup>Cs濃度に対する各試験区の比率(%)

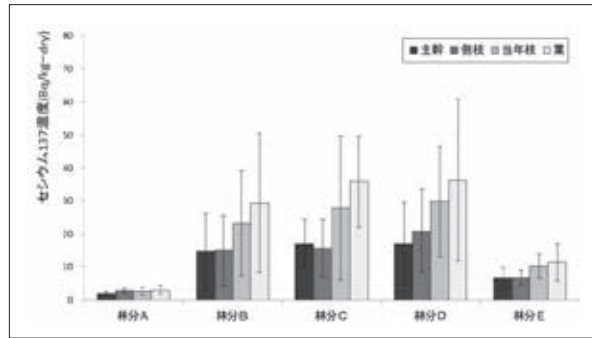


図-2 萌芽枝の部位別の<sup>137</sup>Cs濃度(H30)

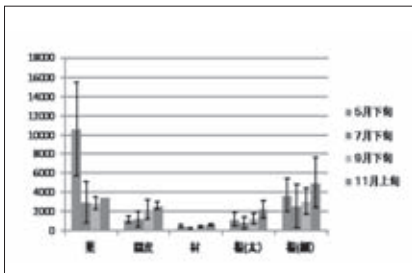


図-5 コシアブラ部位別<sup>137</sup>Cs濃度

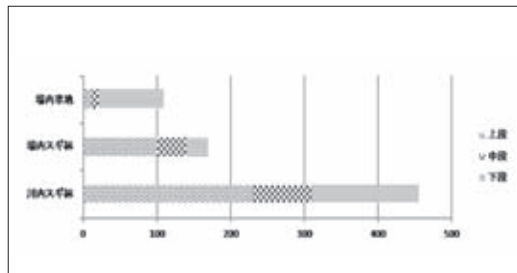


図-4 垂直設置フィルター各段1m<sup>2</sup>当たりの<sup>137</sup>Cs沈着量割合



写真-1 放射能捕捉装置(垂直設置)

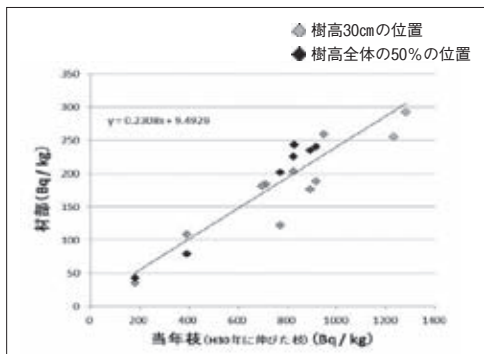


図-7 コナラ立木における当年枝、旧年枝、外樹皮、内樹皮の<sup>137</sup>Cs濃度と材部の<sup>137</sup>Cs濃度との関係

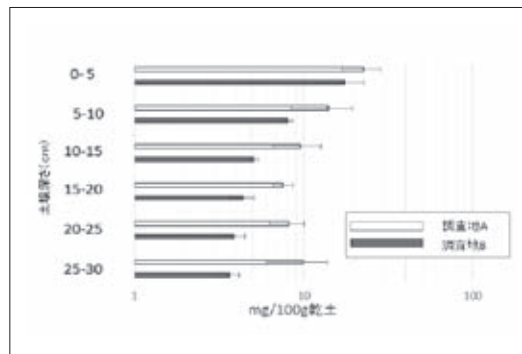


図-6 調査地A及び調査地Bの土壌深さ別交換性カリウム含量



平成30年度認定書交付式

# 福島県もりの案内人 福島県グリーンフォレスターの 認定及び活動について

福島県森林保全課

福島県もりの案内人は、県民に森林の重要性を広く伝えるため、四季の森林にふれあい、一緒に学ぶボランティアの指導者として県内各地で活動しています。

平成九年度を初年度として今年度で二二回目を迎える養成講座は、平成十八年度より県民の皆様にご負担いただいている「森林環境税」を活用した事業として開催し、昨年度までに五五九名の方を「福島県もりの案内人」として認定しています。

講座は単位制とし、全二五単位の中で、森林づくりの基礎から実践を想定した企画の立案まで、森林づくり活動に関わる様々な知識を学んでいただきます。全単位を取得した受講者は、その後実施される認定試験の受験資格が与えられ、この試験の合格者をもりの案内人として認定しています。

取得単位には三年間の有効期限を設けているほか、昨年度から開催日を土曜日及び日曜日にして、平日働いている方でも資格取得に挑戦しやすくしています。

もりの案内人の認定後は、県や市町村、小学校等の他、各種団体からの要請により、森林環境学習の自然



福島県もりの案内人養成講座

観察や木工クラフト、森林づくりの講師として活躍いただいています。

福島県グリーンフォレスターは、森林整備に関する知識や技術等を兼ね備えたボランティアのリーダーとして、県民に林業の重要性や技術を広く伝えるため、県内で活動している森林ボランティア団体等を指導しています。

森林ボランティア団体に所属し活動に意欲的な方を対象としており、講座の中では、大学等から森林づくりに精通した講師を招き、森林整備機材の取扱い方法などについて直接講義を受けることが出来ます。

七日間にわたって開催する当該講座を修了した後、五日間以上の森林

整備機材を使用したボランティア活動を体験した後、実施する試験の合格をもって認定となります。昨年度までに二二四名の方を「福島県グリーンフォレスター」として認定しています。

認定後は、森林ボランティア団体における森林整備の安全指導や県内で開催される緑化イベントでの一般の方に対する技術指導など、幅広く活躍いただいています。

認定者は、自主的に特定非営利活動法人福島県もりの案内人の会及びふくしま・グリーンフォレスターの会を組織して、要請に応じた派遣の他、会員へのフォローアップのための研修会を実施するなど、認定後も継続した知識及び技術の習得が可能な体制づくりを図っています。



森林ボランティアリーダー育成講座

# 都路地区の きのこの原木生産技術を継承

阿武隈川流域林業活性化センター

林業はそれぞれの地域に根ざした技術によって継承されてきました。当センターは、平成二九年度から福島県森林環境基金事業の補助による地域林業伝承事業を、田村市都路町で三カ年計画で行っております。

東日本大震災に伴う放射性物質による汚染によって、震災以前には、年間十五万本以上生産されていた都路地区のきのこの原木生産は、八年間全く行われず、現在も再開の目途は立っておりません。

原木生産従事者は元々高齢者が多く再開時に従事出来ない・新規参入者に教える人がいないという懸念が生じます。そこで、最盛期には年間五〇万本も生産し、関東はもとより九州まで移出していた、優秀なきのこの原木生産技術を次代に引き継ぐため、新規参入者の手引きとなる冊子を作成し、都路町のみならず田村市全域を対象に講習会等を開催し普及に努めてまいります。

事業の実施に当たっては、森林組合、田村市農林課、都路行政局産業

建設課、都路地区きのこ生産者、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会きのこ振興センター、福島県中農林事務所、当センターの担当者七名を委員とする検討会を、年三回開催しながら進めてきました。

平成二九年度は、調査林を候補地十箇所から一箇所を設定しました。面積五〇〇平方メートル(円形)、南西斜面二三度、コナラ、ヤマザクラ、クリ、コナラ等一五八本(鉢当たり三、一六〇本)平均胸高直径七・六センチメートル、平均樹高七・七メートルでした。これを伐採し、玉切り、搬出し、舗装道路脇へ棚積みしました。

平成三〇年度は、伐根からの萌芽状況調査及び原木生産にあたっての留意事項調査を実施しました。伐根数一五八本のうち、萌芽無し一七株、萌芽有り一四二株(発芽率八九パーセント)、萌芽総本数六〇三本、一株当たり萌芽本数一本〜一五本(平均四・三本)萌芽枝長一センチメートル〜二九センチメートル(平均九三・一センチメートル)、根元直径一・〇センチメートル〜二・一センチメートル(平均〇・八センチメートル)でした。萌

芽無し株は一本立ちが多く、萌芽数が多いのは株立ちが多いものでした。最後に、現時点での調査結果による原木生産にあたっての留意事項をご紹介します。

- ① 元口は切り直しを行う
- ② 蔓絡みや枝基部跡による瘤は除く
- ③ 曲がり空洞は除く



萌芽調査



検討会の開催

- ④ 玉切りは根元から切ったり、上から切ったり、中段から切ったりと臨機応変に行う
- ⑤ きのこの伸長には、樹皮と木部の境が最も大切なので、樹皮を剥がしたり、傷付けたり、汚したりしないよう伐根や除外材を台として伐る



瘤(枝基部)は除く



曲がりは除く

# 福島県の森林・林業復興に 向けた取組結果のご紹介

（農林中央金庫福島支店）

農林中央金庫では、森林・林業の分野において、平成二四年度より平成三〇年度まで森林組合系統と連携した被災地への木製品寄贈の取組みを実施いたしました。

昨年度福島県では第六九回全国植樹祭に向けて福島県森林組合連合会をはじめ、県内森林組合や林業関係団体などの関係者と連携し、当日ご参加の方々が使用する木製ベンチの



ベンチの寄贈

寄贈や、

同大会の

プレイベ

ントとし

て「花と

緑いっば

いのふる

さとプロ

ジェクト」

を実施し、



「花壇プロジェクト」始動

「花と緑」があふれる福島県を県内外に広くアピールするなど、東日本大震災からの復興や数々の支援に対する感謝の気持ちが入められた同大会を支援させていただきました。

また、原発事故の影響により、森林に直接触れる機会が減少している県内の子どもたちが、木製品に触れる機会を増やすことができるように、地元の森林組合と連携していわき市内の小中学校三〇校に対して地元いわき産材を活用した木製テーブルやベンチ、フラワーポット、プランターを、相馬市の「放課後キッズクラブ」



「福島県59市町村「花の森」プロジェクト」

に「木」に触れる機会を提供していくことで生活環境改善に貢献してまいりました。寄贈いたしました木製品を通して、子どもたちが木の温もりや木への親しみを感じながら、思

へ木製折り畳みテーブルを、「葛尾村復興交流館」へ木製「へ木製」へ木製図書ラック一体型ベンチなどを寄贈するなど、地域の将来を担う子どもたち

いっきり遊び、そして学んで、福島

県の未来を担う人材に育ってくれることを心から期待しております。当金庫



いわき市の小中学校への寄贈

では引き続き、農林水産業者への支援や、子どもたちに対する木育活動の支援などを通して、福島県の森林・林業の活性化の一助となれるよう各林業団体と連携し、邁進してまいります。



葛尾村復興交流館へ寄贈した図書ラック一体型ベンチ



放課後キッズクラブへ寄贈したテーブル



# 森林土木事業における労働災害の防止に向けて

県北農林事務所

林業普及指導員 渡部 浩幸

林業における労働災害の発生は、各種災害防止活動の展開や関係者の努力により長期的には減少傾向で推移していますが、近年は減少が鈍化している状況にあり、安全衛生対策の確実な実行が必要となっています。

福島県における平成30年1月～12月までの全産業の死亡災害は1名、死傷者（休業4日以上）は2,008名で対前年比10.6%の増となっており、業種別では、土木工事業が死亡災害0名、死傷者97名で5.4%の増、林業は、死亡災害1名、死傷者38名で対前年比52%増と他産業に比べ非常に多くなっています（平成31年2月28日時点速報値）。

当管内では、死傷者を伴う労働災害は発生していませんでしたが、森林土木事業においては、保安林における下刈り、除伐、本数調整伐、病虫害の駆除、工事現場の立木の伐採・搬出、支障木の除去等の森林整備業務が多く行われているほか、急傾斜地での法面整形や堰堤等の高所作業、さらには、地すべり防止工事における坑内作業等、多様な現場で多くの作業員が従事し、多くの機械作業が行われています。

そこでまず、委託・請負契約が締結されると施工計画書が受託者から提出されることから、労働災害防止の取組が適切に計画されているか確認することや、林業機械をはじめとする機械作業における安全対策、夏季の熱中症対策、施工手順、現場の安全衛生等に重点を置き取組を行いました。

現場作業では、専門技術管理員の協力を得て、福島労働基準監督署並びにRST福島、森林土木事業者による労働安全パトロールを実施し、機械器具の点検と適切な使用、作業範囲内への立入り禁止、上下作業の禁止、転落防止措置の状況等の点検を行いました。点検後は、福島労働基準監督署の指導のもと、他の模範となる良い取組のほか、改善点等の意見交換を行い、危険が確認された個所については、事業者に即時改善していただきました。

また、労働災害防止にあたっては、事業の発注者側のスキルも必要であることから、所内の林業普及指導員、森林土木事業の監督員等を対象に、福島市消防本部福島消防署の職員を講師に、実技を中心とした成人の心肺蘇生法、AED取り扱い、止血法など3時間の救命救急講習を実施し、現場で救急車が到着するまでの応急手当法について学びました。

県北農林事務所としては、死亡災害や死傷災害の「労働災害ゼロ」を目指し、引き続き現場に密着した労働安全衛生に取り組んでいきたいと考えています。



普通救命救急講習の受講

フォレストだより

# 森林の中で自然あそびを体験しよう！

公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

## 1 はじめに

当財団では、平成二八年度から、福島県こども未来局こども・青少年政策課からの受託事業として、「自然あそび事業」を実施しています。原発事故以降、飛散した放射性物質への不安により、子どもたちの外遊びの機会が少ない状況が続いており、子どもの心身の健やかな発育を促す外遊びや自然ふれあい体験の重要性が改めて見直されています。このため、安心して外遊びができる「ふくしま県民の森」において、主に未就学児を対象として自由遊びや自然体験を行うため、季節ごとに

表-1 イベント参加者数 (自然あそび事業)

	大人	子ども	合計
平成28年度	446	466	912
平成29年度	506	520	1,026
平成30年度	476	517	993

プログラムを実施しました。これまで、毎年一、〇〇〇人前後の親子がイベントに参加し、自然のふれあいや自然の中での遊びを体験され、好評を博しています。

## 2 人気のイベント

自然あそび事業のイベントは年三〇回開催し、もりの冒険隊やファミリーキャンプなど多くのプログラムを実施しましたが、中でも人気のあったプログラムについて紹介します。

### (1) 小川で生き物を探そう

林学習エリアを流れる沢の生き物を観察するイベントです。講師による説明の



小川で生き物を探そう

### (2) ファミリーキャンプ入門編

キャンプが初めての親子が安心して野外で過ごせるように、福島県キャンパス協会に講師を依頼し、ドーム型テントの設営方法、安全な火のおこし方と扱い



ファミリーキャンプ「外遊び」

た生き物は、バットに入れ、みんで観察しました。水生の生き物を観察することで生き物を身近に感じてもらい、川の生態系を学ぶとともに自然の豊かさを知ってもらいました。



小川で生き物を探そう

### 3 おわりに

震災後、福島県では子どもの肥満率の高さが問題となつていますが、子どもたちにとっては外遊びの機会に恵まれていないのも実情です。フォレストパークあだたらでは、自然あそび事業のほかにも多くのイベントを準備して、みなさんのお越しをお待ちしております。

テント設営では、お子さんが積極的に参加する姿が見られ、ポールの組み立てやペグ打ちなど、親子で力を合わせて頑張っていました。



ファミリーキャンプ「テント設営」



小川で生き物を探そう

後、流れのある所や緩い所に網を入れ、川の小さな生き物たちを採集しました。採集し



ファミリーキャンプ「棒まきパン」

方、火を使つてお子さんが簡単に楽しめる野外調理「棒まきパン」作り、シユラフヤラントンの使い方、フ

苗協だより

始まりは種子から



前年の球果（下）と当年の花（上）  
（写真提供：福島県林業研究センター）

緑色の球果は乾燥にもなつて茶色に変わります。すると種鱗が開き、その間から翼と呼ばれる羽根の付いた種子が自然に落下します。その翼を取ったのが種子となります。翼は種子が遠くまで風で運ばれるように付いています。乾燥した球果から、羽根の付いた種子がクルクルと回りながら落ちる様子は、子供たちに人気

主要な造林樹種の苗は種子から育てています。林業の始まりは種子からといっても過言ではありません。今回は、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を被った海岸防災林で植栽されているクロマツをはじめとする松類の種子について紹介します。松類の多くは、花が咲いて受粉してから実（球果）が充実するまで二

年を要します。今年受粉しても種子がとれるのは二年後になります。よく目にする松ぼっくりは二年前に受粉した球果です。クロマツの種子をとるのは、林業種苗法施行規則により定められている九月二〇日以降で、球果はまだ緑色の状態です。



福島県農林種苗農業協同組合



種子の大きさの違い



乾燥した球果と羽根の付いた種子

ありますので試してみたいかでしょうか。松類は種類によって種子の大きさが違います。ゴヨウマツの種子を初めて目にした人は、その大きさに驚き、食べられないのかと聞かれますが、ヤニが強くて食用にはなりません。なお、食用となるのは海外の松の種子です。

さて、吾妻山系のゴヨウマツは、日本三大五葉松として盆栽の世界では有名ですが、自生している山地は国立公園等に指定されており自由に採取できません。当組合では、吾妻五葉松の伝統を守り、後生に残したいとの地元生産者からの要望を受け、吾妻山系で種子が採取できるよう関係機関に対する許認可手続きなど、伝統を守るための活動も行っています。



発芽したクロマツ  
（写真提供：福島県林業研究センター）

採取した種子はエタノールに浸し、洗んだ種子だけを選んで冷蔵保存し、翌春に播種します。約一カ月後に発芽し、山行き苗として植栽されるまで約一年半から二年間大切に育てられます。

木の文化を育む②

森を活かした教育活動(子どもと青年の異世代交流事業)

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授 阿部 恵利子



○はじめに

原発事故以降、屋外活動が制限されたことから、福島県では肥満傾向児が増加し、運動能力の低下が指摘されるようになりました。復興が進み、屋外の自然環境が改善した今日、大玉村にある、ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」では、福島県「子どもと青年の異世代交流事業」の活動が行われています。

この事業はアカデミア・コンソーシアムふくしまを通じて、保育系の学科を有する大学への参加呼びかけにより実施されており、郡山女子大学短期大学部、いわき短期大学、福島大学など、県内の大学(保育・教育系学科)で学ぶ学生たちが、「自然あそびによる「親子あそび」の企画を考え、実践する取組です。森という自然に囲まれた「外遊び」の体験は、子どもにとっては自然体験の場と社会性の向上、学生にとっては一般の親子と触れ合うことによる社会体験の機会を得ることができることから、子どもや学生にとって非常に

有益な取組となっています。

○フィールドワーク

学生たちは、親子イベントの企画・運営を行う前に、会場であるふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」を散策し、実際に森を見て、触れて体感することからスタートしました。

○ワークショップ

散策後、学生たちは自身が幼少期に体験した自然遊びを思い返し、遊びから得た学びについて意見を交わすワークショップを行いました。自然散策とワークショップは、学生たちにとって自然遊びの意義について



フォレストパークあだたら散策



ワークショップの様子



火おこしをして「マシュマロ焼き」

あらためて考える良い機会となりました。

また、学生たちは、福島県もりの案内人(自然観察会や野外活動、森林づくりなどを通して、一緒に学びながら森林の役割や大切さを広く県民に伝えていくボランティア)による指導者。五頁に「関連記事」を講師に迎え、実際に子どもたちと共にネイチャーゲームをとおして学ぶ体験もしました。

○親子イベントの企画・運営

学生主体で企画したイベントは、実施予定の時期が積雪の多い時期であることから、学生たちは雪の中の遊びについてアイデアをまとめ、二月にイベントの本番を迎えました。

火をおこしてマシュマロを焼いたり、自分でルールを決めた遊び「松ぼっくりを探せ」を行ったり、そり遊びをしたり、学生視点の発想で、新たな「外遊び」を創造し、有意義なイベントとなりました。

○事業の成果

企画全体のアドバイザーであり、企画会議のファシリテーターでもある、郡山女子大学短期大学部幼児教育学科柴田卓氏によると、参加者(保護者)によるアンケートでは、九七割の保護者が子どもの外遊びや自然体験への興味・関心が向上したと回答しており、満足度は一〇〇割であった、とのことでした。また、学生による自己評価において、基本的姿勢・課題探求力・導く力の三つの能力向上が顕著となったことが示されており、これから保育者や教育者を目指す学生が、福島県の抱える子どもの健康に関する課題を理解したこと、またその課題を解決するために当事者意識を持ち、他大学の学生と協働しながら具体的に企画・運営したこと、さらに、その過程において子どもの様子や遊びについて保護者と交流できたことなど、学生たちが自身の成長を実感できたことを高く評価していました。

森に囲まれた「外遊び」の体験は、イベント参加に伴う運動意識向上のみならず、子どものコミュニケーション力の発達、若い世代(親子・学生)の「外遊び」への理解など、さらなる波及効果が期待できる取組でした。「子どもと青年の異世代交流事業」の活動は今年度も引き続き実施される予定です。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(2019年2月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均			
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差		
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	10 (10~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0	
		10~14				13 (13~14)	0	(0~0)		12 (12~12)	0	13 (12~14)	0	
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (11~14)	△1	11 (11~11)	0	13 (13~13)	△1	12 (11~14)	△1	
						並	ヒノキ	19 (16~22)	0	18 (18~18)	0	16 (16~17)	△1	18 (16~22)
			6.00	並	スギ			17 (15~18)	0	13 (10~15)	0	17 (17~17)	0	16 (10~18)
						並	ヒノキ	30 (25~35)	0	(0~0)		22 (19~24)	△1	26 (19~35)
		20~28	3.65	並	スギ			13 (12~14)	0	11 (10~13)	0	13 (12~13)	△1	12 (10~14)
						4.00	並	12 (12~13)	△1	12 (12~12)	0	13 (12~13)	△1	12 (12~13)
	4.00							並	9 (7~12)	0	(0~0)		9 (9~10)	△1
		1.80	並	アカマツ	8 (5~11)	0	(0~0)			8 (8~8)	0	8 (5~11)	0	
	外				30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	(0~0)		29 (28~30)	△1	29 (28~30)
		米マツ	(0~0)	39 (39~39)				0	29 (28~30)	0	32 (28~39)	0		
材	北洋材(定尺)	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)	(0~0)		27 (25~28)	0	27 (25~28)	0		
					並	アカマツ	(0~0)	(0~0)		25 (25~25)	0	25 (25~25)	0	
		4.00	並	カラマツ	(0~0)	(0~0)		27 (25~28)	4	27 (25~28)	4			
				並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		6 (5~6)	0	6 (5~7)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		6 (5~6)	0	6 (5~7)	0		
				並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		6 (6~6)	△1	8 (6~10)	0	

一月の原木市場への入荷状況は、前月比二一割増(前年比一割減)の二八、〇五六立方メートルとなつている。販売量は、前月比一〇割増(前年比四割減)の二七、九九五立方メートルとなつている。二月の価格は弱含みとなつている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14			カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上			カラマツ	(0~0)		10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

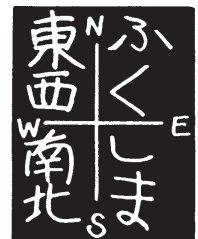
東白川郡矢祭町は福島県最南端に位置し、町内には県南農林事務所管内唯一、一つの市町村内に二つの生活環境保全林があります。生活環境保全林は、市街地等の周辺にあつて水源のかん養や土砂の流出などの防備のため、保安林の機能を多目的かつ高度に発揮させることを目的として造成改良整備された森林であり、レクリエーションの場として利用されています。

町内の生活環境保全林のうち、茨城県境近くにある矢祭山生活環境保全林は平成十二年から利用され、遊歩道を登ると展望台があり町内の景色を堪能できます。平成三〇年八月には東白川郡内の小学生九四名が参加した夏休み森林教室の開催場所となり、森のクイズやターザンロープなど様々な体験活動により自然とふれあい、森林の働きなどを理解する場として利用されました。



館山生活環境保全林から矢祭山(正面)方面を望む

二つ目の館山生活環境保全林は矢祭町役場近くにあり、平成二年から利用されています。保全林内にある



### 福島県最南端の生活環境保全林

県南農林事務所 北條 武男

展望台からは、矢祭山方面を眺めることができます。その景色を見るには二〇段の階段を登る必要がありますが登り切った達成感と雄大な風景を望めたという感動を十分に味わうことができます。



# 「令和」

五月六日は立夏。初夏の風に吹かれて散歩をするには、いい季節になってきた。ウグイスも繁殖の準備にはいるとみえ「ホーホケキョ」と、鳴く声もきれいに響き渡るようになってきた。耳にとても心地よく、耳でも楽しめる季節になってきた。そして、生まれてくるスズメの子は、親と暮らすのは十日間ほどで、後はスズメの子だけで仲間をつくり親から離れていくらしい。五月十日から十六日の愛鳥週間は、新緑の中での産卵、子育て、巣立ちをする鳥たちを優しく見守る週間といえるかもしれない。

そんな季節の中、「令和」という新しい時代が始まった。濃淡深淺な緑とともに、新しい時代が明けることの何と清新なことか。二〇一九年は、お正月で新年が明け、五月一日に新しい時代となり、今年は喜ばしい思いを二度味わえることとなった。

さらに、この新元号の「令」は、古い意味では、神様のお告げ、皆が仲良くという事。また、うるわしい、という意味も込められているという。(金田一秀穂氏談) 英訳では、Beautiful harmony—美しい調和。チベットの語で、レイワグは、希望。そして、手話表現では、「片手を前に動かしながら、すぼめた指を緩やかに開く動作で、花のつぼみが未来に向かって咲く様子を表現。万葉集の梅の花の歌をイメージし、指先から香りを放つような表現にした」(全国手話研修センター小出常務理事談)

「指先から香りを放つ」なんて繊細で美しい日本人の心の表現ではないか。新元号の発表後「万葉集」が注目され始めたようだが、この匂い立つような「令和」にも注目してみたい。(都)

## 表紙の写真



「大きくなあれ」

第33回ふくしま緑の写真コンクール  
金賞  
受賞者 浦井礼子さん (福島市)  
撮影場所：北塩原村

編集	福島県内四森林管理署
発行	福島県森林・林業・緑化協会
発行人	福島県森林組合連合会
	福島県木材協同組合連合会
	福島県農林種苗農業協同組合
	ふくしま緑の森づくり公社
	森林研究整備機構福島水源林整備事務所
	福島県森林・林業・緑化協会
	(福島市中町五番一八号県林業会館内)
発行人	水戸印刷株式会社
	陽光社印刷株式会社
	(定価 一〇八円)

## お知らせコーナー

### ふくしま県GAP認証制度による認証 (きのこ関係)

福島県は、県産農林水産物の安全を確保し、消費者からの信頼性の向上を図ることを目的に、ふくしま県GAP (FGAP) の認証制度を実施しており、所得向上や農作業事故ゼロ、更には風評払拭に向け、より良い農業の証であるGAP日本一を目指しています。

平成30年度までのFGAPの認証結果 (きのこ関係) は、次のとおりです。

認証日	生産者等の名称	市町村名	品目名
平成29年10月17日	株式会社日光林キノコ園	白河市	きのこ
平成29年10月17日	野原 勇一	西会津町	きのこ
平成30年11月15日	杉原 辰徳	西会津町	きのこ (しいたけ、きくらげ)
平成31年2月26日	さめがわドリームきのこ園andきよらの里 鈴木 幸男	鮫川村	きのこ (しいたけ)

### 平成30年度全日本学校関係緑化コンクール表彰校が決定

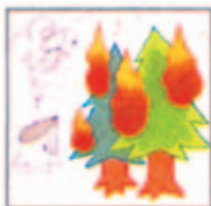
(公社) 国土緑化推進機構は、青少年の緑化活動と学校における緑化教育の一層の推進を図るため、毎年度全日本学校緑化関係コンクールを実施しています。

平成30年度の本県関係の表彰校は、次のとおりで、本年6月2日に愛知県で開催される第70回全国植樹祭の会場で表彰されます。

部門	表彰の区分	学校名
学校林等活動の部	入選 (国土緑化推進機構 理事長賞)	会津若松市立湊小学校
学校環境緑化の部	入選 (国土緑化推進機構 理事長賞)	会津若松市立大戸小学校

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



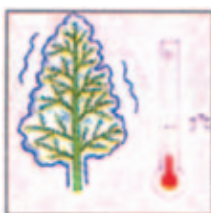
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)  
または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

# GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.



### 傾斜地に対応した全回転チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全回転ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

### 最新の GP-8 コントローラを搭載

- ・5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- ・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- ・A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
- ・樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
- ・材積集計機能を標準で搭載



### 新開発のスタッドローラ (オプション)

- ・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(釘)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- ・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易



For the future with forest



イワフジ工業株式会社

http://www.iwafuji.co.jp

北関東支店 福島県新山町八山 024-34-1111  
TEL 024-523-5166 FAX 024-523-5168  
本社・工場 岩手県奥州市水沢字松屋敷西5-1  
支店 札幌 東北 北関東 関東 中部 関西 九州

レインボー薬品の薬剤と資材

# 緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
スミパインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマンCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10  
お問い合わせ TEL. 03(6740)7777  
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)



## 人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店  
**(有) うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚 108-1